

2016年2月24日

報道関係者各位

スポーツに関わる95%の人に必要とされているアスリートフード
結果を出している選手はアスリートフードを食べている
～アスリートフードマイスターがアドバイスする食事の力に迫る～

株式会社アスリートフードマイスター（東京都渋谷区：代表取締役 福井栄治）は、プロ・アマチュア問わずスポーツをする全ての人が「食」のサポートを受けられる社会を目指し“アスリートフードマイスター”の養成を行っております。

昨今の健康志向の高まりと2020年に東京オリンピック開催が決まり、スポーツを楽しむ人々の間ではパフォーマンスの向上や体力作り、結果を出すパフォーマンスにはバランスの取れたスポーツのための食事が欠かせないものとして認知が広がりアスリートフードマイスター約6,500人が活躍中です。プロスポーツ選手の傍には家族を中心にアスリートフードマイスターによる食事のアドバイスがあることをご紹介します。

アスリートフードマイスターの食事アドバイスとは

なぜ今、アスリートフードマイスターなのか。

安全安心が叫ばれる食への関心はアスリートの意識も変えつつあります。現在、栄養だけではなくパフォーマンスの維持・向上のために食事を総合的に考えることが常識となってきました。バランス良く食べることは共通しているものの、健康的な食事とアスリートフードは栄養の補い方に対する考え方が違います。種目やポジション、タイミング別に応じた食の提案をすることにより怪我のリスクを避け、結果に繋がる食のアドバイスができる資格としてプロスポーツ選手のご家族を中心に資格の取得が広がっています。

アスリートフードマイスターのサポートを受けているスポーツ選手

- ◆サッカーJリーグ得点王者 大久保嘉人選手（川崎フロンターレ）
- ◆プロ野球セ・リーグ首位打者 川端慎吾選手（東京ヤクルトスワローズ）
- ◆大相撲 初場所優勝者 琴奨菊関（佐渡ヶ嶽部屋）
- ◆ジャパンラグビー トップリーグ 得点王者 五郎丸歩選手（ヤマハ発動機ジュビロ）
- ◆アメリカメジャーリーグ ヤンキース 田中将大選手
ドジャーズ 前田健太選手
シアトルマリナーズ 青木宣親選手
- ◆フィギアスケート 織田信成選手
ほか多数

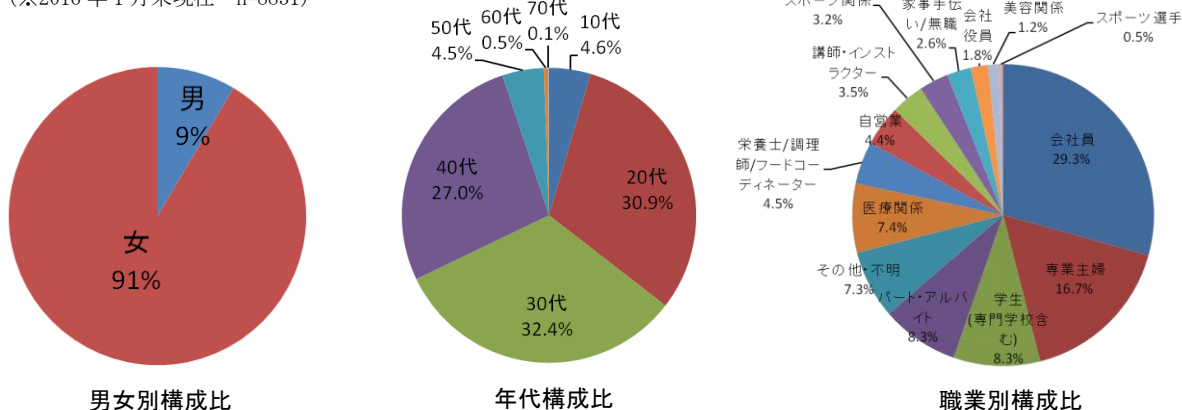
アスリートフードマイスター養成講座

アスリートが食事で失敗しないために必要なスキルを身につける「スポーツのための食事学」より深くアスリートを理解し、食のサポートができる人材を育成するため、アスリートの「食」と「身体」について理解を深めるための講座です。（詳しくはこちら <http://athlete-food.jp/>）



●アスリートフードマイスターの受講生の特徴

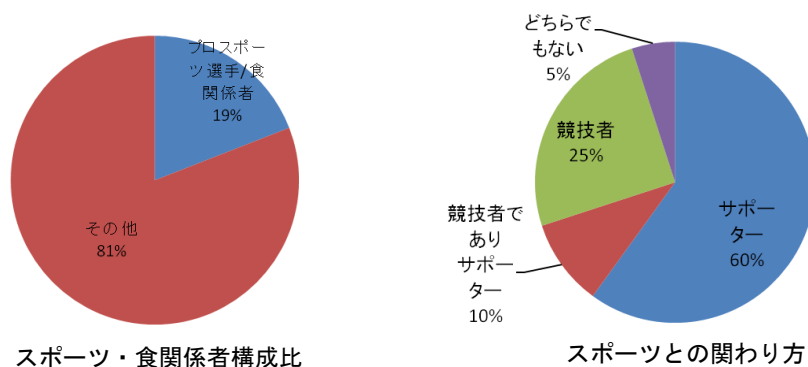
(※2016年1月末現在 n=8831)



●アスリートフード食とスポーツの関係性

アスリートフードとは「健康的な食事」から栄養素を不足なく補うこと、その上でタイミング別に「いつ」「何を」「どのように」食べたらよいかを考えていきます。幅広い種目に関係する方々に学んでいただくため、瞬発力・持久力・メンタルのように重視される競技別の食事の考え方に基づきオフ期・トレーニング期・試合期といったタイミング別の食事をアドバイスする力を養成しています。

資格取得別構成比ではプロスポーツ選手を含め食関係従事者は約 20%であるものの、下記の図が示す通りプロ・アマ問わず 95%以上の方が競技者またはサポーターでありスポーツに関わっている方であることが示す通りの「スポーツのための食事学」です。



【資格が活かされている主な種目】

サッカー、野球、マラソン、ラグビー、テニス、バレーボール、格闘技、フットサル、バスケットボール、バレエ、ダンス、ゴルフ、スノーボード、ボクシング、スケート、トライアスロン、水泳、自転車など

プロ・アマそして年齢を問わず様々な種目でアスリートフードマイスターの資格が活かされています。将来を期待されるジュニア選手への食事指導や成長期の食育活動など幅広くアスリートフードマイスターが社会貢献することを目指し資格取得者の活躍を応援しています。種目別の資格取得者への取材等は下記までご連絡ください。

■ 本件お問い合わせ先：株式会社 アスリートフードマイスター 広報部

東京都渋谷区宇田川町 20-17NOF 渋谷公園通りビル 4F TEL (03) 3780-8650 FAX (03) 5459-8186

URL : <http://athlete-food.jp/> E-MAIL : koho@vege-fru.com